

# 練馬区練馬地区

## 公的介護施設等整備計画（案）

平成 19 ~ 20 年度

### 【対象区域】

旭丘、小竹町、栄町、羽沢、豊玉上  
豊玉中、豊玉南、豊玉北、中村、中村南  
中村北、桜台、練馬、向山、貫井

平成 19 年 1 月  
練 馬 区

# 面的整備計画書

計画名称	平成19年度練馬区練馬地区公的介護施設等整備計画
------	--------------------------

都道府県名	東京都	市町村名	練馬区	区域	練馬地区
-------	-----	------	-----	----	------

計画番号	1	3	1	2	0	-	0	0	1
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

計画期間	平成19年度 ~ 平成20年度
------	-----------------

## 1. 公的介護施設等の整備に関する目標

区内で最も市街化が進んでいる地区であり、西武池袋線、都営地下鉄大江戸線等交通の便がよく、商業、文化、公共施設など、区を中心として開発されたエリアである。地区の高齢化率は区平均より低いが、後期高齢化率は区平均より高く、高齢者のいる世帯のうち単身や高齢夫婦のみ世帯の割合は最も高い。日常生活圏域内の公的介護施設のうち、介護専用型居住系施設等はまだまだ不足しており、また、認知症高齢者などを地域で支え、生活が続けられるための拠点を整備していく必要がある。今後は新たに創設された小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービス拠点を重点的、計画的に配置していく。20年度までに、小規模多機能型居宅介護は既存を含めて3か所、認知症高齢者グループホームは既存を含めて5か所72人、認知症対応型デイサービスセンターは既存を含めて4か所64人、小規模特別養護老人ホームを1か所27人の整備を目標とする。各整備拠点と地域包括支援センターとの連携を図り、地域の高齢者が安心して居宅生活を可能な限り継続することを目指していく。

## 2. 日常生活圏域における公的介護施設等の整備状況

公的介護施設等の種類	施設数			定員			公的介護施設等の整備の目標を定めるに当たっての留意すべき課題
	(開所分)	(整備分)	(合計)	(開所分)	(整備分)	(合計)	
① 特別養護老人ホーム	3	0	3	173	0	173	地域密着型サービスへの民間事業者の参入意向を斟酌するとともに、住民の持ち家率の高さ、独居・高齢世帯の増加等の状況を踏まえ、公的介護施設等との連携や協力体制の構築を図ることが必要である。
② 老人ショートステイ用居室	3	0	3	18	0	18	
③ 老人保健施設	1	0	1	72	0	72	
④ 訪問看護ステーション	8	0	8	—	—	—	
⑤ 小規模多機能型居宅介護拠点	0	1	1	0	15	15	
⑥ 認知症高齢者グループホーム	3	1	4	45	9	54	
⑦ 認知症対応型デイサービスセンター	3	0	3	52	0	52	
⑧ 夜間対応型訪問介護ステーション	0	1	1	—	—	—	
⑨ 介護予防拠点	1	0	1	—	—	—	
⑩ 地域包括支援センター	1	0	1	—	—	—	

### 3. 計画の作成等に係る住民の意見の反映

#### ①住民意見の反映の仕組み

介護保険運営協議会において、委員から意見を聴取する。また、区ホームページに掲載する。

#### ②整備目標に対する住民意見の反映

### 4. 事後評価の方法等

#### ①評価の実施時期

20年度に計画進捗状況を報告し、計画期間終了後の21年度に評価を行うものとする。

#### ②評価の方法

施設整備の進捗状況、事業費の支出状況、事業者間の連携状況などについて、介護保険運営協議会で評価する。

#### ③評価の手順

介護保険運営協議会で評価する。評価結果は区ホームページなどで区民に公表する。  
介護保険運営協議会は、介護保険事業計画に関する重要な事項等を審議する目的で設置され、被保険者、福祉関係団体、介護サービス事業者、学識経験者等から組織されている。

## 5. 客観的指標関係（指標1～指標3関係）

## ① 当該市町村における65歳以上人口の増加率（指標1関係）

区分	平成17年	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
65歳以上人口	人 117,302	人 121,261	人 125,696	人 129,447	人 133,221	人 135,916	人 136,951	人 138,697	人 142,952	人 146,867	人 150,320
増加率	% /	% 3.38	% 3.66	% 2.98	% 2.92	% 2.02	% 0.76	% 1.27	% 3.07	% 2.74	% 2.35

(出典)

練馬区年齢別人口推計表（平成17年7月）

## ② 65歳以上のひとり暮らし又は65歳以上の夫婦のみの世帯の割合（指標2関係）

(A) 高齢者のいる世帯数	(B) 高齢者単身世帯数	(C) 高齢者夫婦世帯数	指標2 $((B) + (C)) / (A)$
世帯 19,639	世帯 7,873	世帯 4,461	% 62.80

## ③ 介護保険3施設及び介護専用居住系サービスの定員数の要介護2以上の認定者数に対する割合（指標3関係）

(A) 指定介護老人福祉施設の定員数	173 人	(G) 地域密着型特定施設の定員数	0 人
(B) 地域密着型介護老人福祉施設の定員数	0 人	(H) 要介護2以上の認定者数	2,412 人
(C) 介護老人保健施設の定員数	72 人	指標3 $((A) + (B) + (C) + (D) + (E) + (F) + (G) / (H))$	%
(D) 指定介護療養型医療施設の定員数	70 人		
(E) 認知症高齢者グループホームの定員数	54 人		15.2985
(F) 介護専用型特定施設の定員数	0 人		

6. 目標達成のために必要な公的介護施設等の整備事業、その費用の額及び交付予定額等

① 地域介護・福祉空間整備交付金に係る分（地域密着型サービス拠点の整備中心、既存資源の活用）→指標4、指標6関係

(単位：千円)

公的介護施設等の種類		単位		既存資源の活用		対象経費の 実支出(予定)額	配分基礎 単価	加算額	交付 (予定)額	19年度交付 (予定)額	20年度交付 (予定)額	21年度交付 (予定)額
		施設数	ユニット数	件数	活用する既存資源及びその状況							
番号	介護給付等対象サービス等を提供する施設											
①	小規模特別養護老人ホーム	1	3			124,800	40,000		40,000		40,000	
②	認知症高齢者グループホーム	1	2			40,000	15,000		15,000		15,000	
③	小規模多機能型居宅介護拠点	2				40,000	30,000		30,000	15,000	15,000	
④	認知症対応型デイサービスセンター	1				10,000	10,000		10,000		10,000	
⑤												
⑥												
⑦												
⑧												
合 計					—	214,800	95,000		95,000	15,000	80,000	0

特別法等の適用 | 沖縄： | 地震： | 特豪：

② 地域介護・福祉空間推進交付金に係る分							
(単位：千円)							
番号	事業の具体的内容	対象経費の 実支出(予定)額	配分基礎 単価	交付 (予定)額	19年度交付	20年度交付	21年度交付
					(予定)額	(予定)額	(予定)額
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
合 計							

政策的指標関係

7. 政策的指標関係(指標5、指標7～指標10関係)	
※以下については、6の①「地域介護・福祉空間整備等交付金に係る分」について記載すること。	
① サービス拠点相互の連携によるネットワーク形成を目指したもの →指標5関係	
番 号	事業内容及び指標5に該当する具体的な根拠
1、2、 3、4	各整備拠点と地域包括支援センターとの連携を図るとともに、区では事業者連絡会議を平成17年5月27日から月1回ペースで実施し、サービス拠点相互の連携、ネットワーク形成を目指してきた。新規参入予定事業者には同会議への出席を働きかけてきたところである。平成18年度からは、練馬区介護サービス事業者連絡協議会への参加を指導し、協議会が主催する研修会を通じての資質向上を図るとともに、ネットワーク形成を推進していく。
2	認知症高齢者グループホームにデイサービスセンターなど通所サービス等の併設を要請するとともに、地域で他の事業者との連携を十分に図ることを指導していく。

② 元気な高齢者や地域住民が参加する「共生型」のコミュニティづくりを目指したもの →指標 7 関係

番 号	事業内容及び指標 7 に該当する具体的な根拠
1、2、 3、4	各拠点において、地域との交流は不可欠であり、新規施設については、できる限り交流できるスペース等を確保するように指導し、子どもや地域住民との交流事業実施などの具体的な構想がある整備計画について、事業者の選定時に優先順位をつけるなどして、誘致・整備を行うこととする。

③ 当該市町村が未来志向の事業又は先駆性の高い事業を実施している →指標 8 関係

実施の有無	具体的な事業内容
有 無	練馬区は16年度、17年度に認知症や認知症予防のための庁内組織および区民参加の懇談会組織を設置し検討してきた。また、17年度に認知症予防推進員養成や認知症予防対策高齢者生活実態調査を実施した。平成18年度より新たに東京都老人総合研究所方式を参考にした地域型認知症予防プログラムをモデル地区にて実施する。今後、地域型認知症予防プログラムや認知症予防推進員活動を区内全域で展開できるよう拡充していく。

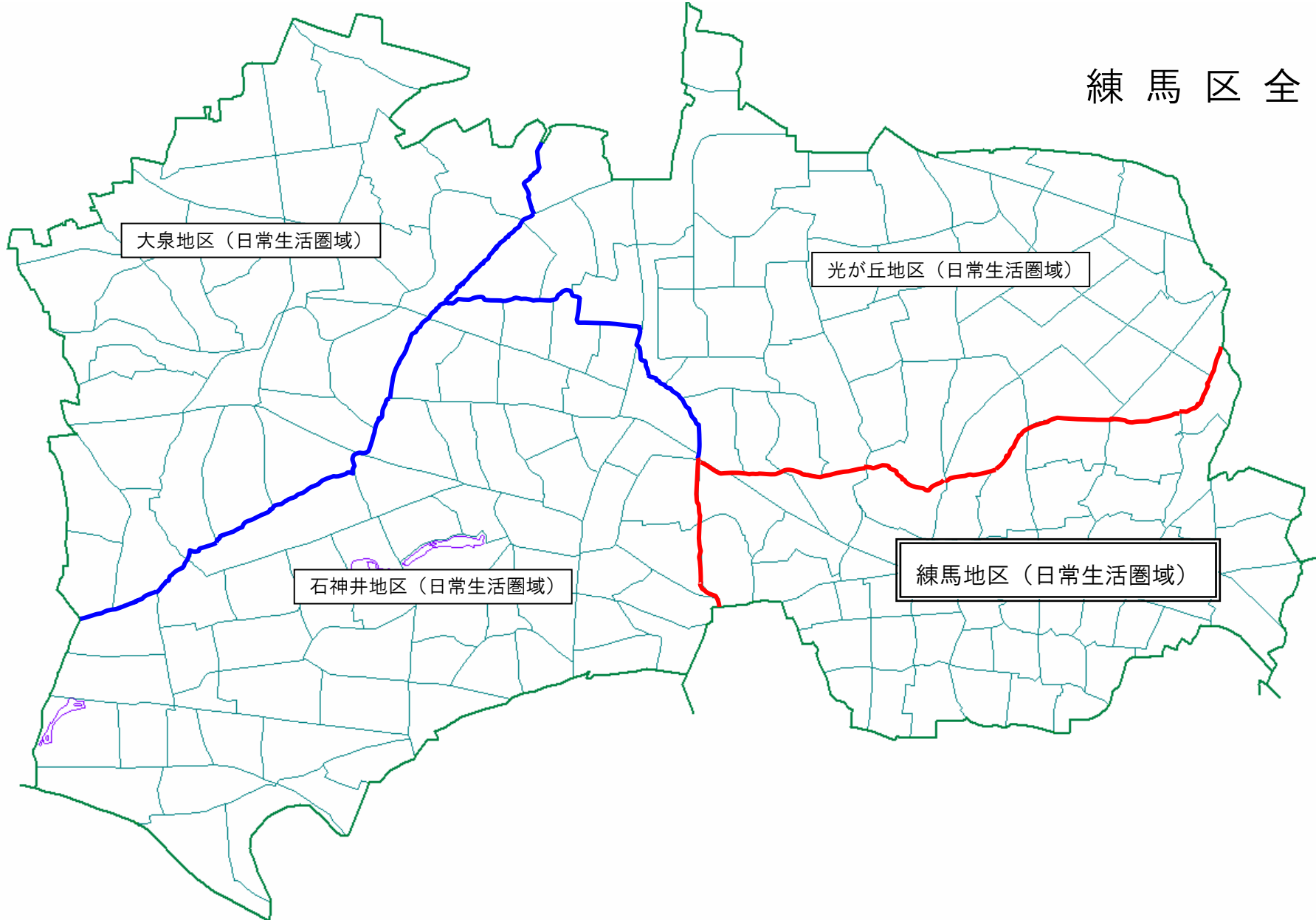
④ 当該市町村が給付適正化事業を実施している →指標 9 関係

実施有り	・	実施無し
------	---	------

⑤ 内閣府による地域再生の評価結果等の反映 →指標 10 関係

提出あり	S	・	A	・	B
------	---	---	---	---	---

# 練馬区全図



大泉地区（日常生活圏域）

光が丘地区（日常生活圏域）

石神井地区（日常生活圏域）

練馬地区（日常生活圏域）



- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| ◎ 特別養護老人ホーム・老人ショートステイ | ⊕ 老人保健施設          |
| ☆ 訪問看護ステーション          | ★ 夜間対応型訪問介護ステーション |
| ⌒ 小規模多機能型居宅介護拠点       | ⊕ 介護予防拠点          |
| △ 認知症高齢者グループホーム       | 📦 地域包括支援センター      |
| ◇ 認知症対応型デイサービスセンター    |                   |

練馬地区（日常生活圏域）

